

令和7年度 地域連携推進会議 ～障がい者支援施設 共栄～

1. 日時 令和7年12月5日(金) 10時00分～11時30分
2. 場所 共栄会議室
3. 司会 内田 記録 忠鉢

地域連携推進会議とは？

- 障害者支援施設・グループホームが地域とつながり、サービスの質を高めるために、地域の関係者・利用者・家族などの“外部の目”を入れて行う会議です。年1回以上の会議開催＋年1回以上の施設訪問が必要になります。
- 議事録を作成し、構成員に確認議事録を公開（HP・掲示など）致します。

この会議で大事にする4つの目的

- 利用者地域との関係づくり
顔の見える関係を作り、地域で暮らしやすくする。
- 地域の人の理解促進
施設や障害への理解を広げ、地域と施設のつながりを強める。
- サービスの透明性・質の確保
外部の視点を取り入れ、支援内容や運営を客観的に見直す。
- 利用者の権利擁護
利用者の思いが適切に支援に反映されているか確認する。

本日の予定

- 10:00～ 中島施設長挨拶
自己紹介(各委員)
- 10:15～ 事業概要
事業計画遂行状況報告
経営状況報告
- 11:00～ 施設見学
- 11:20～ 質疑
中島施設長挨拶
- 11:30～ 終了



障がい者支援施設 共栄

共栄の事業概要

利用定員 施設入所支援/生活介護 75名

短期入所(男女2名) 4名

職員体制 管理者 1名

サービス管理責任者 3名

看護師 3名

管理栄養士 2名

生活支援員 51名

(常勤45名、非常勤5、インターン1名)

共栄のサービス種別

- 施設入所支援
- 生活介護
- 日中一時支援
- 短期入所

主に入所の機能として施設内外のユーザーに対し、4つのサービスを提供。

共栄で暮らしている方の特徴①

- 共栄で暮らしている方の人数

75名(男性 39名 女性 36名)

※令和7年12月1日現在

- 年齢層

30代～90代 平均年齢 58.9歳

共栄で暮らしている方達の特徴②

- 共栄で暮らしている方達は、
知的障害(最重度)
身体障害
発達障害(自閉症/強度行動障害)
精神障害

平均支援区分 **5.7**

共栄の事業方針

1. 『**利用者の幸福(しあわせ)の追求**、ニーズに対する積極的な実現』
2. 『**職員の幸福(しあわせ)の追求**、やりがいのある職場作り』
3. 『**丁寧な介護技術**の追求、介護者側・介護を受ける側双方に心地良い、**ノーリフトケアの実践**』
4. 『暮らしの安心の追求、共栄を最期の場所を選んで頂く為の**看取り援助の実践**』
5. 『利用者への**権利侵害及び虐待防止の強化**と**身体拘束適正化の強化実践**』

1. 『利用者の幸福(しあわせ)の追求、ニーズに対する積極的な実現』



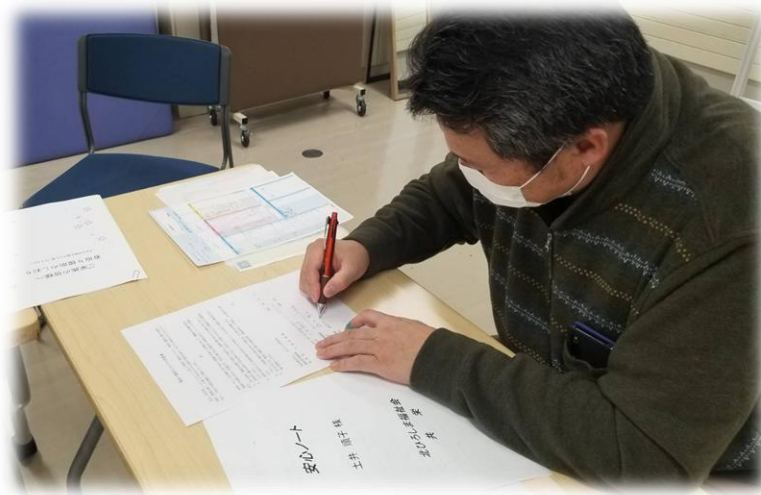
2. 『職員の幸福(しあわせ)の追求、やりがいのある職場作り』



3. 『丁寧な介護技術の追求、介護者側・介護を受ける側双方に心地良い、**ノーリフトケアの実践**』



4. 暮らしの安心の追求、共栄を最期の場所を選んで 頂く為の看取り援助の実践】



長寿の会の様子



5.『利用者への権利侵害及び虐待防止の強化と身体拘束適正化の強化実践』



共栄の生活介護

カラオケ



ものづくり



アダプテッドスポーツ

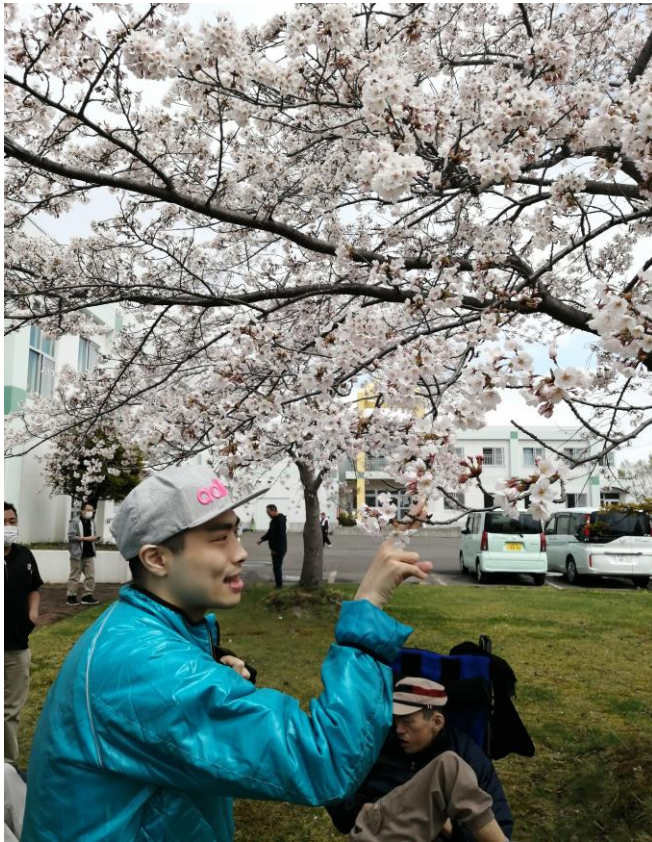
(老若男女・障害の有無問わず楽しめるスポーツ)



軽作業(バット)



散歩



共栄の行事

行事(夏) 夏祭り



行事(秋) ハロウィン



行事(冬) クリスマス会



行事(冬) お正月



パート旅行・外出



番外編



事業計画遂行状況

事業計画(長期展望)

- 長期的な視点として、設備投資により、建物の増設で個室化を目指していく。
- 共栄利用者が、気心知れた人的環境で住み慣れた場所で最期を迎えられる環境に整備する。
- 看取り援助に必要な知識、技術、経験の向上を目指していく。

事業計画(単年度展望)

①入所看護ステーションと連携し、配置医との日常の健康管理から看取り介護期における協力関係を継続します。

→令和7年度4月より、生活介護における入浴加算(医療スコアで対象となる方が1回/80単位)を算定開始(19名の算定で開始し、7月からは20名に増員)。

- ・適宜65歳以上の带状疱疹ワクチン接種対応。
- ・8月利用者1名重度の肺炎(細菌性)で入院加療。傾向での栄養摂取が難しくなり、ポート造設し経管栄養となり、療養型施設へ転院となる。身元引受人との連絡調整、医療情報の共有をしながら進めた。
- ・経管栄養(胃瘻)で栄養補給しながら生活されている方の3食の医療サポート体制を継続して支えている。
- ・健康状態の状態変化に応じ、多職種でケースカンファレンスを行い、サポートの内容を協議し必要に応じ家族も居れた面談を行っている。

事業計画(単年度展望)

②施設整備において、館内の修繕(厨房整備、トイレ、各居室、エアコン(相談室))/必要な福祉器具の導入を予算化し(眠りスキャンシート年間10台を予算化予定)、継続的に進める。

→ ・6月～7月 エアコン整備完了(居室・相談室)

・7月 厨房機器入れ替え。

・6月～ICT インカム連動・記録ソフトの説明・デモ機使用体験し、令和8年4月導入予定。

・9月 議事録録音要約ツールとして、Plaud Noteをモニタリングする。

・下期、個浴槽の入れ替えを予定(寄付金使用予定)

事業計画(単年度展望)

③介護技術の底上げを図り、ノーリフトケアコーディネイターBASIC資格取得、介護福祉士における喀痰吸引等研修(第1号・第2号)修了者を1名～2名計画します。

→・喀痰吸引資格者認定証手続き完了。

・令和7年度中に、介護福祉士による喀痰吸引を可能にする為の登録手続きを行う予定。

・6月～8月 ノーリフトケアBASIC資格取得(年間目標合格者2名目標中/2名合格)

事業計画(単年度展望)

④地域移行年間計画における地域移行の目標を年間で1名～2名計画します。

→・男性1名 法人内の資源としてグリーンパーク北ひろのグループホームに空きが出来た為、入居者選考の元、入居が決定し10月5日(日)付で地域移行された。

・女性1名 意思決定の居住確認の聞き取りから、体験の意向が聞かれた方1名の食事体験を実施。その後、経験を積み重ねる予定であったが、本人の中に心配な点があり、一度体験をお休みする事となった。現在は、職員と一緒に体験を積み重ねる事が出来るように調整し再開している。

事業計画(単年度展望)

⑤看取り援助において、医師より治る見込みの無い状態と診断を受けた方の支援において、障がい者支援施設共栄の看取り援助に関する基本指針を元に、共栄が最期の場所の選択肢の一つとしてご本人や家族が検討出来るように活動します。**※一部変更**

→・**安心ノート(エンディングノート)の取り組みを継続し、家族の意向/身元引受人となる方の更新や多職種で健康面の状態変化を評価しながら、変化の見られた方には個別に御家族へ相談を行い、本人・家族の意向を踏まえて看取り介護の同意を交わされている。**

※4月1件、6月1件

事業計画(単年度展望)

⑥安心ノートのツールを使用した家族へのアプローチ、長寿を祝う会、の家族を巻き込んだイベントを企画し、看取り援助に対する研修の機会を作ります。また、利用者個々人のアセスメントを取りながら、利用者の意向確認、家族の意向確認、介護ケア・看護ケアの内容を個別支援計画へ反映し、意思決定のマネジメント及びケアの見える化を図ります。

→・年2回の個別支援計画策定会議では家族も参加しながら、将来の暮らしに関わる計画、既に看取り援助の同意を交わされている方に関しては、定期的なモニタリングを継続している。

・7/24(木) 第1回入所合同家族勉強会実施(両施設で30名以上の家族が参加された)。

・12/12(金) 第2回入所合同家族勉強会開催予定。

事業計画(単年度展望)

⑦職員の働く上でのやりがいや、働き易い環境を作る取り組みを継続しながら、令和7年度もFスタッフ受け入れを画策し、内部のサポート体制も継続していきます。

→5月下旬よりFスタッフ2期生が始業し、3カ月経過し担ってほしい勤務は出来ている。Fスタッフが10名となり、新たな課題として間接業務(日本語を使う)のバランスに偏りが出てきており、ICT/DXによる業務改善を視野に入れた取り組みを検討する必要がある。

事業計画(単年度展望)

⑧「各種活動を一緒に」をスローガンに地域との協働による活動を行います。

新たな取り組みとして、2012年以降に退所された利用者の御家族を対象に、令和7年5月に「桜の会」と称した記念行事を企画します。**※一部変更**

→ 5/25(日) 桜の会(OB会)を実施。

※グリーンフケアを実践



上半期稼働(施設入所/生活介護)

施設入所	目標稼働率	実績	対目標	生活介護	目標稼働率	実績稼働率	対目標
4月	97.5	98.58	1	4月	97.5	93.6	-3.9
5月	97	98.92	1.9	5月	97	94.0	-3.0
6月	97.5	98.8	1.3	6月	97.5	93.8	-3.7
7月	97.5	99.1	1.6	7月	98.5	94.2	-4.3
8月	97	96.3	-0.7	8月	98.5	90.9	-7.6
9月	97.5	97.6	0.1	9月	98.5	93.0	-5.5

短期入所事業収入

	実績	実績累計
4月	353,650	353,650
5月	484,260	837,910
6月	328,420	1,166,330
7月	435,760	1,602,090
8月	386,340	1,988,430
9月	448,960	2,437,390

令和7年度 上半期収支

4月～9月収支

収入予算	250,175,922	収入実績	254,957,015
支出予算	212,059,843	支出実績	214,761,004
収支差額予算	38,116,079	収支差額実績	40,196,011

上半期経営状況(総括①)

- 4月：共栄の生活介護の外部利用されている方(区分6の方)が、怪我で長期入院加療となり利用できなくなった事により、1名減員の状態が続き、上期の生活介護の稼働に影響が出ている(平均稼働91～92%)。後に、9月介護保険サービスを受けて生活する事となり、共栄の生活介護を退所された。

※8月の稼働減は、生活介護男性利用者1名減、女性利用者1名入院、お盆帰省による稼働への影響が要因と考察した。

上半期経営状況(総括②)

【入 院】

8月 女性利用者1名が水分の過剰摂取により、低ナトリウム血症となり入院加療

9月 女性利用者1名が重度の肺炎(細菌性)となり、入院加療。その後の経過から、喉の機能不全と診断を受け、経口での栄養摂取が困難となり、ポート造設し常時医療ケアが必要な状態となったことから、家族の決断により共栄を退所し療養型施設へ転院する方針となった。

上半期経営状況(総括③)

【短期入所】

年間500万円を目標としており。

半期4月～9月

2,500,000円→2,437,390円(62,610円未達)